

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立野津中学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

【学習意欲の向上につながる取組】

- 加配教員を効果的に活かした習熟度別少人数授業の実践
 - ・英語科二人体制で全学年全学級を習熟度別2クラスに分け、個に応じた細やかな指導を行っている。
- ALTとのコミュニケーション活動
 - ・ALTと1対1で対話をし、ネイティブな英語にふれる。
- ※生徒一人ひとりの力に応じた指導により、英語を学ぶことの楽しさを知り、意欲の向上につながっている。
- アシスタントティーチャー(地域人材)による課題添削
 - ・毎日の家庭学習課題をアシスタントティチャーに提出。添削を加え提出状況や個人の取り組み方等を担任と情報共有し、個別指導を行っている。
- 欠席者への授業配信
 - ・休んでいるが自宅で授業を受けたという生徒にZoom配信を行っている。
- ※きめ細やかな個別指導や学習環境の保障が意欲の向上だけでなく基礎・基本の定着にもつながっている。

英語科の取組



地域人材活用

学びの保障



取組の具体②

【開放的な学習の場の有効活用】

- 本校は、遠距離通学の生徒が多く、保護者の車で下校する生徒もいる。下校時刻になっても保護者の仕事の都合等で、迎えが来るまでの待ち時間が発生する。その時間を学習の時間として有効活用したいという生徒が多くいる。そのような生徒のために、自由に使える学習環境を整備した。生徒は隙間時間を有効的に利用し、主体的・積極的に自主学習に取り組んでいる。
- 放課後の図書室利用
 - ・本校の図書室は、校舎の中央にあり、2階までの吹き抜け・廊下側全面ガラス張りで開放的な空間である。国語をはじめとする多くの授業で日常的に利用されており、読書スペースとしてだけでなく、学習の場としても生徒に馴染んでいる。そのため、放課後の迎え待ち時間に利用する生徒が多い。
 - 学びのコーナーの利用
 - ・玄関ホールのフリースペースに「学びのコーナー」として机・椅子を設置。放課後のわずかな迎え待ち時間に利用する生徒も多くなる。
 - ※隙間時間を学習の時間として意欲的に取り組んでいることが、基礎基本の定着にもつながっている。

学習の場としての図書室利用



玄関ホール「学びのコーナー」

